



Max Monson マックス・モンソン

PhD Student 博士課程



© Shoichi Kudo

CONTACT

✉ monson.max.273@s.kyushu-u.ac.jp

📍 福岡・横浜・津軽

🌐 <https://kyushu-u.academia.edu/MaxMonson>
<https://researchmap.jp/mgmonson>

EDUCATION

2009

University of Michigan ミシガン大学

- ・ BA 学位取得
- ・ Major 専攻: Linguistics 言語学
- ・ Minor 副専攻: Japanese 日本学

2024

Kyushu University 九州大学

- ・ MA 修士課程修了
- ・ MA Thesis 修士論文:

“The Verbal Morphophonology of the Tsugaru Dialect Spoken in Fukaura, Aomori Prefecture: With an Accompanying Grammatical Sketch”
「青森県津軽地方深浦町方言の動詞形態音韻論と簡易文法スケッチ」

LANGUAGES

- ・ 英語
- ・ 日本語
 - 津軽方言
- ・ イディッシュ語
- ・ ヘブライ語 (古代)
 - 勉強中: 中国語、韓国語、ロシア語...

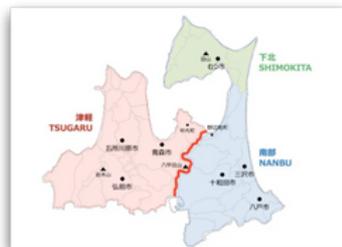
PROFILE

アメリカのミシガン州デトロイト郊外出身。青森県津軽方言の記述文法 (descriptive grammar) の作成に取り組んでいる。歴史言語学・言語変化・言語類型論・言語系統論・消滅危機言語などにも興味があり、様々な理論的観点から研究を進めている。

津軽方言はで日本本土の方言の中でも非常に難解な方言の一つとされてきた。しかし、私の研究では、主観的な既成概念を取り払い、津軽方言を独立した言語体系として総合的に記述することを目指している。

津軽方言は、differential object marking (示差的目的語標示)、intervocalic voicing (子音の母音間有声化)、琉球諸語でも見られる摩擦音母音 (fricative vowel) など、通言語学的に見られる様々な現象がある。したがって、津軽方言の記述文法を作成することで、「日本語学」や「国語学」の分野だけでなく、人間の言語への理解を深めることを目的している。

このような記述的な研究をしながら、津軽方言保存・復活にも貢献したいと考えている。また、津軽民話レシテーションやfolk taxonomyにも研究範囲を広げたい。



<https://hirosaki.keizai.biz/photoflash/1824/>